

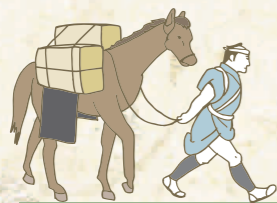


戦国時代を終わらせた徳川家康公は、街道に宿場を設け、一宿ごと物資をリレーする伝馬制を敷きました。東海道には、57の宿場※と箱根峠、薩埵峠、宇津ノ谷峠、小夜の中山峠、鈴鹿峠の5つの峠がありました。現在、この街道は、東京都、神奈川県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府を通じています。静岡県には東の三島宿から西の白須賀宿まで22の宿場があり、そのうちの蒲原宿、由比宿、興津宿、江尻宿、府中宿、丸子宿の6つの宿場と薩埵峠、宇津ノ谷峠の2つの峠は静岡市となっています。

※近年「東海道は京都三条大橋までではなく、大阪の守口宿まで」を踏襲しています。

東海道の景観

当時の東海道は、おおむね6mの道幅があったようです。二代目将軍秀忠公は約4kmごとに街道のキロポストである「一里塚」を築きました。江戸時代の東海道は松の木が街道の両側にあり、その木陰は旅行者を助け、側溝も完備され、身分の高い人が通行する際には、住民が掃き清めゴミも少ない街道であったと思われる。



蒲原宿

東海道53次の15番目の宿場。なまこ壁、格子のある家やクラシカルな洋館などが連なり、ゆったり散策したくなる町です

由比宿

風情が残る古い町並みに本陣公園や広重美術館など歴史を感じる施設が充実しています。桜海老などの特産品も魅力的

薩埵峠

古来の名称は岩木山。12世紀に由比倉沢の漁師が海から菩提薩埵(お地藏さんのこと)を引き上げ祀ったことから薩埵山と呼ぶようになりまし。東海道53次の中でも昔と同じ風景を望めるのはここだけ！

宇津ノ谷峠

平安末期からの日本の官道(国道)として在原業平をはじめ多くの人の往来があり、神秘的な場所としても有名です

興津宿

甲州へ続く身延道の起点でもあり、西園寺公望、井上馨等の要人がこぞって別荘を建てた風光明媚な場所。朝鮮通信使で有名な清見寺があります

江尻宿

カッパ伝説が残る稚児橋、開国を市民から支えた次郎長、洒落たウォーターフロントなど見所、楽しみどころがいっぱいです

府中宿

家康公がつくった、今も賑わう活気あるまち。江戸期以来の色々な出来事が伝えられています

丸子宿

戦国時代から江戸時代の中・近世末期の史跡が多く残る町。悲恋などの逸話も多く知れば知るほど味が出てきます

